

# 迎春



## 日本設備工業新聞

発行所  
(株)日本設備工業新聞社  
東京都渋谷区桜丘町10-13  
〒150-0031 野元第1ビル  
電話 (03) 3496-4774 (内)  
FAX (03) 3464-1884  
info@setubikougyo.co.jp  
(購読料郵税共) 年極8,000円

撮影

株式会社アカギ

代表取締役会長

渋谷 清壽 氏

(金閣寺)



環境大臣 山本 公一

### よりよい環境へ挑戦 未来の世代に引き継ぐ

平素から環境行政及び原子力防災行政の推進に御支援、御協力を賜り、心より御礼申し上げます。平成二十九年の新春を迎えるにあたり、ここに御挨拶申し上げます。同時に、各取組のうち主要なものについて御紹介させていただきます。

まず第一に、今年の三月で発生から七年目を迎える東日本大震災からの復興・創生です。まだまだ、困難な課題がありますが、私は、被災地の皆様との信頼関係こそが一番大切であると考えています。何よりも被災地の皆様の思いに寄り添いながら、引き続き、誠心誠意取り組みたいと考えています。

また、二〇三〇年度に六〇削減目標の達成に向けて、最大限の再エネ導入や徹底した省エネの推進、民生や運輸を始めとする各部門別の取組、国民運動やフロン対策等を進めます。そして、本格的なカーボンプライシングの検討など二〇五〇年八〇削減も見据えた技術・社会構造のイノベーション等を推進していきます。

また、原子力規制委員会が、独立性の高い三条委員会として、科学的・技術的見地から公正・中立な立場で規制を進められるよう、環境大臣として、しっかりとサポートしていきます。

今から二十年前、一九九七年のCOP3京都議定書で環境行政の重要性が認識され、環境政策は私の大切なライフワークです。昨日より今日、今日より明日、少しでもよりよい環境を未来の世代に引き継いでいけるよう、今年も挑戦してまいります。

本年が皆様にとって大いなる発展の年となりまことを心より祈念するとともに、環境行政及び原子力防災行政への御支援、御協力をお願いして、新年の御挨拶といたします。

除染については、本年三月までに除染実施計画に基づく面的除染を終了させるべく作業を加速化してまいります。中間貯蔵施設については、昨年、土壌貯蔵施設等の本格的な施設の整備に着手

いたしました。「平成二十九年の中間貯蔵施設事業の方針」に基づき、本年も引き続き、施設の整備と除染土壌等の継続的な搬入を着実に進めていきます。また、住民の方々の放射線に係る健康管理や健康不安への対応についても、福島県の県民健康調査への支援など適切に進めてまいります。

帰還困難区域については、関係省庁と連携しつつ、復興拠点の整備に必要な措置を講じてまいります。指定廃棄物については、各県それぞれの状況を踏まえつつ、引き続き、安全な処理の実現に向けて地元と調整を進めてまいります。

更に、こうした対策の加速化に向け、推進体制の一元化・充実のための組織改革を行います。

第二に、待たなしの地球温暖化対策です。我が国も締結をしたパリ協定が発効し、地球温暖化に対する人類の戦いは新たなステージに入りま

た。私も自身もモロッコで開催された国連のCOP22(気候変動枠組条約第二十二回締約国会議)に出席し、脱炭素社会構築に向けた日本の決意を発信し、また、世界の潮流を強く実感しました。国内外での対策をより一層進めていかなければなりません。

第三に、我が国の魅力ある自然の保全・活用やいきもの共生に向けた取組の推進です。二〇一五年には年間約四三〇万人の訪日外国人が国立公園を訪れ、日本の自然に親しんでいただいています。これを、自然環境の保護と両立した上で、大胆な利用の拡大を図り、二〇二〇年には一〇〇〇万人にすることを目指す「国立公園満喫プロジェクト」を進めていきます。そのため、受け入れ態勢を含めた整備を進めるとともに、民間企業にも御協力いただき、日本の国立公園の魅力が全世界に向けて発信していきます。

第四に、毎日の生活にも密接に関連する3R(リユース・リデュース・リサイクル)・資源循環と、安心・安全の確保に向けた取組の推進です。暮らしを将来にわたって支えていくため、更新の時期を迎えつつある一般廃棄物処理施設の整備支援を適切に行っていくとともに、浄化槽の普及を進めます。国内外の適正な資源循環の推進など施策の充実に取り組みしていきます。熊本地震等近年の災害の経験を踏まえ、今後想定され得る大規模災害もあらかじめ念頭に置いて、災害廃棄物の適正かつ円滑な処理体制の確保及び処理施設の強化対策も進めてまいります。

**TOTO**

きれいな除菌水のチカラで、毎回手間なし除菌。

**NEOREST**

詳しくは弊社カタログ、ホームページをご覧ください。

また、様々な存在する

環境リスクの低減に向けた取組を進めるため、化学物質のリスク管理強化や土壌汚染の管理適正化などの施策の充実を図ります。そのほか、PCB廃棄物の期限内処理、微小粒子状物質(PM2.5)に関する確かな情報提供や排出抑制対策、水俣条約の実施に向けた取組、子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)、海洋ごみ対策、水俣病を始めとする公害健康被害対策や石綿健康被害者の救済などについても着実に取り組んでまいります。

また、様々な存在する

環境リスクの低減に向けた取組を進めるため、化学物質のリスク管理強化や土壌汚染の管理適正化などの施策の充実を図ります。そのほか、PCB廃棄物の期限内処理、微小粒子状物質(PM2.5)に関する確かな情報提供や排出抑制対策、水俣条約の実施に向けた取組、子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)、海洋ごみ対策、水俣病を始めとする公害健康被害対策や石綿健康被害者の救済などについても着実に取り組んでまいります。

また、様々な存在する

環境リスクの低減に向けた取組を進めるため、化学物質のリスク管理強化や土壌汚染の管理適正化などの施策の充実を図ります。そのほか、PCB廃棄物の期限内処理、微小粒子状物質(PM2.5)に関する確かな情報提供や排出抑制対策、水俣条約の実施に向けた取組、子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)、海洋ごみ対策、水俣病を始めとする公害健康被害対策や石綿健康被害者の救済などについても着実に取り組んでまいります。



アクアセラミックが、トイレに新世紀を告げる。

**LIXIL**  
Link to Good Living

# 100年クリーン

水のチカラで、ずっと輝く

**AQUA CERAMIC**

クリーン① トイレの汚れが、ツルンッと落ちる。 クリーン② リング状の黒ずみ、くすみとサヨナラ。 クリーン③ 新品時のツルツルが、100年つづく。\*

LIXIL主力住宅トイレのすべてに「アクアセラミック」を展開

\* 同一部位の摩擦回数2往復で年間365日お掃除した場合、お掃除ブラシで約7万回(100年相当)の往復を想定しています。

株式会社 LIXIL お客さま相談センター ☎ 0120-179-400 受付時間：平日 9:00~18:00 土・日・祝日 9:00~17:00